

高齢者向け高用量インフルエンザワクチン（エフルエルダ）

2024 年 12 月、高齢者向け高用量インフルエンザワクチン、エフルエルダ筋注（一般名：高用量インフルエンザ HA ワクチン）が承認されました。60 歳以上の高齢者のインフルエンザ予防の新たな選択肢として期待されています。

インフルエンザウイルスの外膜（エンベロップ）には、宿主細胞に侵入する際に必要なヘムアグルチニン（HA）とウイルスの増殖後、宿主細胞から遊離する際に必要なノイラミニダーゼ（NA）という突起（スパイク）があります。ワクチンは、HA を抗原にした感染力のない不活化ワクチンです。臨的に問題となる季節性インフルエンザは、A 型と B 型です。A 型は HA16 種類、NA9 種類のサブタイプがあり、変異が激しく、毎年、微細な変化を繰り返します。一方、B 型は遺伝子的に安定しているため変異が少ないです。標準用量のインフルエンザワクチンは、A 型（H1N1 亜型、H3N2 亜型の 2 種類）と B 型（ビクトリア系統、山形系統の 2 種類）の 4 価ワクチン、各 15 μ g ずつ計 60 μ g の抗原を含有しています。ワクチンは、基礎疾患のない若年成人では中等度の有効性を示します。一方、加齢による免疫機能の低下（免疫老化）やフレイル、合併症が多い高齢者では、十分な免疫応答が得られにくいことが知られています。そこでエフルエルダは抗原量を 1 株当たり 4 倍の 60 μ g（計 240 μ g）に増量し、接種方法を皮下注から筋注に変更しました。不活化ワクチンは血流が少ないと十分な免疫を誘導できないため、海外では筋注が推奨されています。治験データでも、標準用量製剤を凌駕する抗体上昇が認められました。高齢者は筋注による接種刺激で迷走神経反射（失神・徐脈・めまい）を起こす可能性があるため、接種後 30 分程度はゆっくり腰掛けるなど、体調に変化がないことを観察します。単回接種用のプレフィルドシリンジ製剤のため、チメロサル（防腐剤）フリーです。

販売名	エフルエルダ®筋注	
一般名	高用量インフルエンザ HA ワクチン	
製造株 (WHO の推奨株)	A 型株	H1N1 亜型及び H3N2 亜型
	B 型株	Victoria 系統及び Yamagata 系統
会社名	サノフィ株式会社	
効能・効果	インフルエンザの予防	
用法・用量	60 歳以上の者に 1 回、0.7mL を筋肉内接種する	
接種部位	左右どちらかの上腕三角筋	
薬剤接種時の注意	本剤は筋肉内注射のみに使用し、皮下注射又は静脈内注射はしないこと	
副反応	重大な副反応として、ショックおよびアナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）ほか。その他の副反応として、注射部位の疼痛（2 日程度継続）、頭痛、筋肉痛、倦怠感など	
貯法	凍結を避け、2～8℃で保存	
薬価	発売準備中（2026 年秋頃の発売予定）	

使用に際しては、電子添文と RMP を必ずお読み下さい

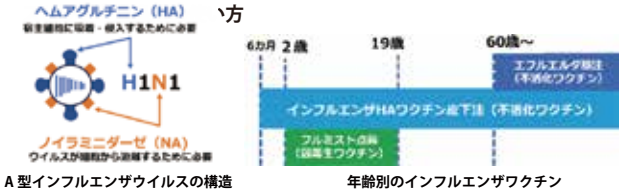


表 インフルエンザワクチン

販売名 (会社名)	エフルエルダ®筋注 (サノフィ)	インフルエンザ HA ワクチン(デンカ、KM バイオロジクス、阪大微研)	フルミスト®点鼻液 (第一三共)
効能・効果	インフルエンザの予防	インフルエンザの予防	インフルエンザの予防
投与経路	筋注	皮下注	鼻腔内
対象年齢	60 歳以上	6 ヶ月以上	2 歳以上 19 歳未満
投与回数	1 回	1 3 歳未満 2 回 1 3 歳以上 1 回 または 2 回	1 回
製剤の有効期間	1 年間	1 年間	1 年間
種類	不活化ワクチン	不活化ワクチン	弱毒生ワクチン
剤形	プレフィルドシリンジ (1 人用)	バイアル (複数人使用)	点鼻剤 (1 人用)
製造株	4 価 A 型 2 種、B 型 2 種	4 価 A 型 2 種、B 型 2 種	3 価 A 型 2 種、B 型 1 種
備考	チメロサルフリー	チメロサル含有と チメロサルフリー	ゼラチン(安定剤)含有
保存条件	凍結を避け 冷所（2～8℃）	凍結を避け 冷所（10℃以下）	凍結を避け 冷所（2～8℃）